

## 能登町訪問報告書

日程 2月1日(木)～2日(金)

訪問先 石川県能登町

視察行程並びに町内の状況

◎2月1日

柳田体育館（支援物資の集積場所）

・自衛隊員や他自治体からの派遣職員約 60 人が、物資輸送隊、ニーズ把握隊、在庫管理隊に分かれ活動している。



柳田上長尾地区を視察

・倒壊した家屋、土砂崩れにより寸断された道路、神社の倒壊した鳥居など。

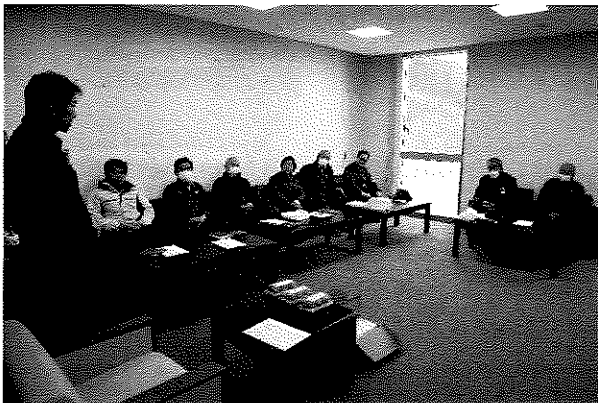


## 町役場で能登町議 13 名と意見交換

義援金目録と支援物資をお渡しし、意見交換を行った。

## 【主な意見】

- ・日本各地で大きな地震があったのに、これまで形式的な訓練しかしてこなかった。何か他人事であった。実践的な訓練が必要。
- ・すぐに避難所ができたが、はじめは住民同士で運営した。まずは、水と食料、そして間もなく衛生面が問題となった。
- ・他の自治体から送られてきたトレーラートイレがとても役に立った。
- ・階段を上がれないような高齢者や障害者にはポータブルトイレも必要になる。
- ・1 か月が経過して、避難者同士のトラブルも出てきた。大規模な避難所と小規模な避難所で課題が違っている。
- ・若い人は仕事にも行くようになり、高齢者ばかり残り避難所運営が難しくなっている。運営のボランティアも必要になってくる。
- ・避難所開設が長期化し、役場職員の負担が大きく疲労が心配である。



### 派遣されている流山市職員を激励

- ・ホームページの更新並びに X（ツイッター）やラインなどの SNS で各種情報を発信する業務を担当。



### 四明ヶ丘地区を視察

- ・アスファルトが崩れ家屋は傾いている。
- ・山の斜面が崩れ家屋に押し掛かっている。

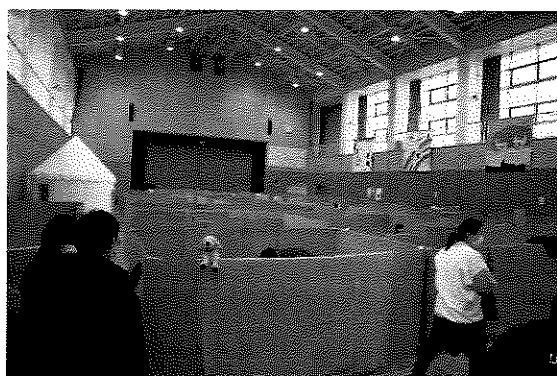
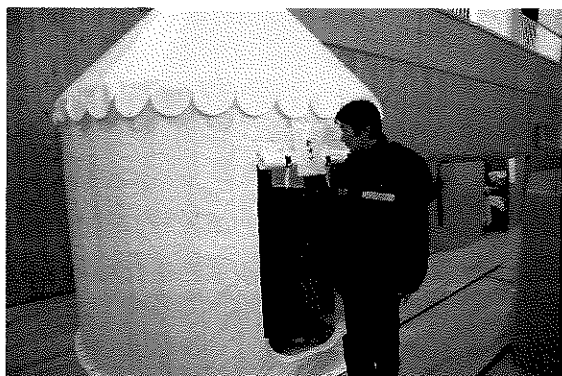


### 能都中学校（避難所）訪問

- ・当初は 300 人以上が避難していたが、現在は約 70 名程度が避難生活を送っている。
- ・段ボールで間仕切りやベッドが作られており、ある程度のプライバシーが保たれている。

・インスタントハウスは、女性に着替えや子どもたちの遊び場としても使われている。

・各自治体から送られてきたトレーラートイレがとても有効である。



移動途中に藤波運動公園内に設置された自衛隊風呂を見学

・設置当初は行列ができたが現在は、並ばずに利用できている。



### 鵜川地区の仮設住宅建設地を視察

- ・旧鵜川小学校跡地を利用し、仮設住宅 66 戸を建設中。
- ・建設期間は約 3 週間。2 月中旬には完成予定。
- ・希望者を募集し、抽選により入居者を決定。
- ・地震発生からちょうど 1 か月となる 2 月 1 日午後 4 時 10 分を迎え黙とうを捧げた。



### 鵜川地区を視察

- ・地震による家屋の倒壊など、被害の最も大きかった地区。



## 鵜川小学校（避難所）を訪問

- ・約 70 名の避難者が避難生活を送っている。シャワーテントが設置されており避難者に喜ばれているとのこと。
- ・車いすでも使える仮設トイレ（トヨタ提供）が設置されていた。
- ・学童保育の子どもたちが感謝の気持ちと折り紙を渡してくれた。



◎ 2月2日

## 金七議長の地元・松波地区を視察

- ・銘酒大江山を醸造する松波酒造も被災。
- ・瓦屋根の家が倒壊しているのが多くみられた。

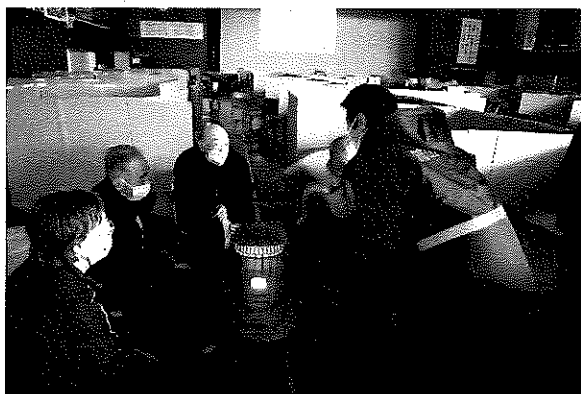


## 松波中学校（避難所）を訪問

・ボランティア団体のジャパンハートの皆さん。避難者の介助などに活躍しているとのこと。

・避難者をお見舞い。東邦酒類に勤め流山で1年間生活されていたという方も。

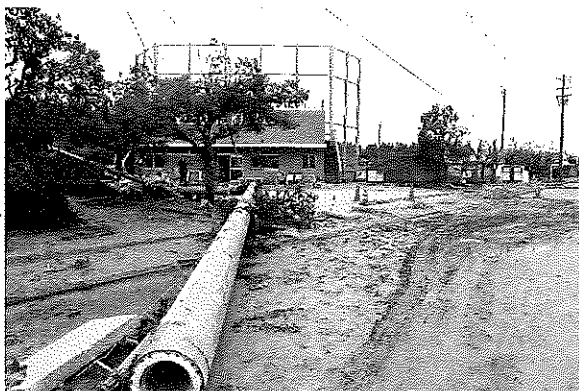
流山を懐かしんでおられた。



## 移動途中、津波の被害があった内浦野球場を視察

・ネットフェンスが50メートルも流されている。

・津波で倒された照明塔。



### 白丸地区を視察

- ・津波と火災で壊滅的な被害があった地域。
- ・4.7メートルの津波が襲ったとのこと。



### 小木地区を視察

- ・道路が完全に崩れ、電柱も倒壊。
- ・駐車されていた車が湾の海中に。

